

Combine Utsunomiya

受賞者

景山 亮 [株式会社日建設計 都市・社会基盤部門]

Combine Utsunomiya

表紙-01

1 市全体の取り組み 既編 周辺自治体における都市計画の進展に向けたNCC形成・MICE推進
2 都心部の都市構造 中編 旧都心部(旧都心部)・新市街地(新市街地)等の「宇都宮らしい」特徴的な二核・二軸の都市構造
3 駅西口(旧都心部)の将来像 既編 二核・二軸を引き寄せ1つに「結合」する宇都宮の玄関口
 (Combine)

4 コンセプト・配置イメージ・整備手法・整備イメージ

コンセプト	配置イメージ	整備手法	整備イメージ
(1) ヒスタ (Histat) 都市の歴史を継承し、未来を創る。歴史を継承し、未来を創る。歴史を継承し、未来を創る。	(2) ランドスケープ (Landscape) 都市の景観を創る。都市の景観を創る。都市の景観を創る。	(3) 交通乗り換え (Transfer) 交通の利便性を高める。交通の利便性を高める。交通の利便性を高める。	(4) 緑化空間 (Green Space) 緑化空間を創る。緑化空間を創る。緑化空間を創る。
(5) ユニークベニュー (Unique Venue) ユニークな空間を創る。ユニークな空間を創る。ユニークな空間を創る。	(6) アパコンベンション (Apakonvention) アパコンベンションを創る。アパコンベンションを創る。アパコンベンションを創る。	(7) カンパニオナル (Companional) カンパニオナルを創る。カンパニオナルを創る。カンパニオナルを創る。	(8) 防災まちづくり (Disaster Resilient City) 防災まちづくりを創る。防災まちづくりを創る。防災まちづくりを創る。

5 駅西口全体の空間像・活用イメージ

6 環境負荷軽減と災害時対応イメージ

7 管理・運営マネジメント

審査講評

- 都市景観・都市基盤・都市機能それぞれに対する、コンセプト・配置イメージから整備手法・整備イメージが非常に丁寧に検討されている。駅を降りて、宇都宮丘陵や中心市街地方面へと広がる視点場を創出するため、高台やステップ状の広場を設けるなど、宇都宮の景観を活かした発想を高く評価した。
- 駅前の一連の建築やステップ広場がこのボリューム・形態で適切なのかについては賛否があるが、形態構想力は評価できる。デッキから直接橋に降りるルートはユニークな提案だが、巨大なペデストリアンデッキには疑問が残る。提案としては成立している一方、グランドレベルが活かしていないように見えるのが残念。
- リサーチから課題整理までは、表現を含め秀逸である。一方その解としての2枚目の提案は、テーマが近未来の宇都宮であったのに対し、駅前の街区が20世紀的なビルの林立となっているように感じられた。駅前広場のデザインや繋がりが明確になるとなお良かったと思われ、今後の可能性に期待し奨励賞としたものである。

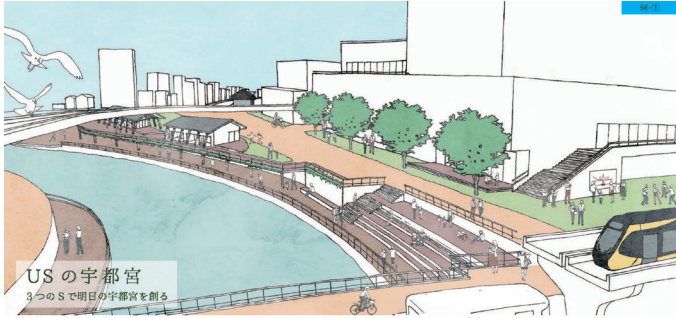
奨励賞

USの宇都宮

受賞者

九鬼 拓也/柴山 慶子/高橋 俊弥/西木 浩志/横田 直哉

[新潟大学大学院 自然科学研究科 環境科学専攻 都市計画研究室]



USの宇都宮
3つのSで明日の宇都宮を創る

宇都宮の歴史・都市構造

川沿いの空間づくり

駅前の空間づくり

まちの歴史・文化・地域イベントの積極的な導入で活動的・ゆるやかなまちづくり

Superlock

Smartsity

Streetscape

コンセプト

3つのSで明日の宇都宮を創る



大通り/小道エリア

河川エリア

USの宇都宮-将来のイメージ

広場エリア

まちの歴史・文化・地域イベントの積極的な導入で活動的・ゆるやかなまちづくり

審査講評

- 3つのSで明日の宇都宮をつくるという考え方が明確に示され、歴史、都市の構造を踏まえた歩行者中心の空間を提案している。
- 駅前を人中心の空間にするため、区域内は公共交通のみに限定するという思い切った考えを高く評価した。駅前を歩行者が安心してくつろげる空間にするなど、人中心の空間形成に向けたアイデアが豊富で、人の動きや歩行者の視点に配慮した提案がされている。
- LRTの駅を建築物として解き、駅建築の中をLRT軌道が通っている案はユニークで新しい可能性を感じさせる。
- 川沿いの空間づくりが秀逸。ペDESTリアンデッキを使って駅から直接田川に導くルート、田川に向かうテラスとデッキなど、魅力的な空間が配置されている。駅北側の遊休地も単なる空地とせず、観光・余暇の拠点として提案されており、建築と空地のバランスも良い。ただ、全体を統合するコンセプトが若干弱点が残念。

宇都宮市長特別賞

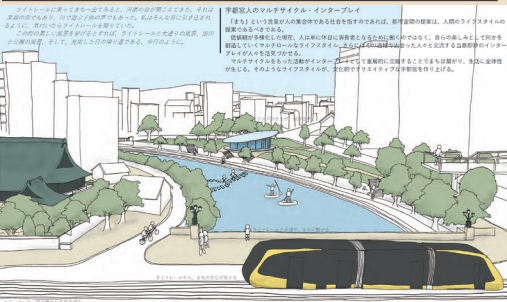
MULTI-CYCLE & INTERPLAY - 文化的な宇都宮へ

受賞者

阿部 哲也/児玉 創/田中 宣安/山本 琢人/柳川 篤志/高岡 奈々恵/戸谷 百萌

[中央復建コンサルタンツ株式会社]

MULTI-CYCLE & INTERPLAY - 文化的な宇都宮へ



Full Score - 総合計画



Theme - マルチサイクルの共鳴

マルチサイクルのインタープレイって何？
 どのようなことで共鳴する



まちがどう変わる

マルチサイクルのインタープレイが実現すると、まちがどう変わるか。その変化をイメージし、まちがどう変わるかを説明する。

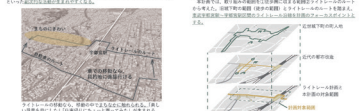


Analyse - 分析

マルチサイクルの環境
 インタープレイの環境



宇都宮タイトルで、副次的な活動が生まれる
 宇都宮の都市構造



MIYANO-OTO (みやのおと) - 新たな宇都宮のシンボル



駅前広場整備 - 人とライトレール中心の交通拠点



Co-Lab 宮 - 産官学農の交流拠点



宇都宮まちぐるみ旅館 - 宇都宮人も泊まってみる



審査講評

- 現在、様々な分野におけるデジタル化が急速に進む中において、都市のあり方や必要な機能などが見直されてきている。そうした課題に真摯に向き合い、人々の活動と出会いから新たな創造が生まれ、活性化していくまちというコンセプトが大変よく考えられている。
- 自動車中心からLRTなど公共交通を中心としたまちに変化させていくため、目的地と居住地の往復だけでなく、その途中で気軽に立ち寄りたくなるようなまちを作っていくとする考えが、宇都宮市の考えと合っており、それを具体化していくアイデアに関しても配置などを含めしっかりと検討されている。
- 通勤・通学者が多いまちの特性や農業・スポーツ・ジャズといった地域資源、LRTの特性など、宇都宮市の特徴や強みを十分に理解した上で、それらを活かしたコンセプトや空間の使い方などを上手く考えており、これらの点を高く評価した。(宇都宮市)